

C

スポーツ関係部署のみならず、多様な部署や関係団体との連携・協働を考える。

これまで

同じような内容が別々の部署で行われている傾向が・・・

AやBなどの視点で取組の改善を図っている
でも・・・スポーツ部署だけの考えでは限りがある

スポーツ

福祉

健康長寿

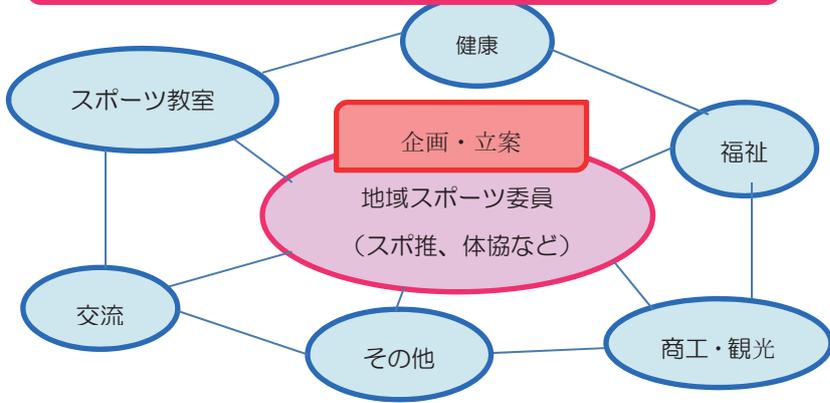


手立て



スポーツをツールにわが市町村ではどんな
取組をしているだろう（できるのだろう）？

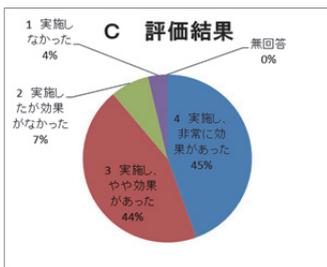
【市町村版】〇〇〇協議会、〇〇〇会議などの設置



対象は？
ニーズは？
役割分担は？
指導者の体制は？

アンケート調査より

【検証】



・実施しなかったが4%と非常に低かった。実施したのは96%で、約90%が効果があったと回答。

「効果があった理由」

- ・福祉や健康増進関係部署と連携し、公民館などへの出向く取組やタッチポイントを作って運動の機会を創出した。
- ・福祉施設などとの連携により、障がい者のスポーツの機会を創出した。
- ・スポーツ関係団体との連携・協働についても多くあった。

「効果がなかった理由」・すでに連携を行っているなど。

「実施しなかった理由」・高齢者が多く集落が点在しているなどの地域事情により効果が見込まれない。

<実施例>

○南部町では、『スマイルなんぶ〜健康・長寿、日本一を目指して〜』のキャッチフレーズのもと、医療部会、食生活部会、運動部会の3部会で、町民の生活習慣病の発症と重症化の予防を目標に、スポーツ以外の部署とも連携・協働して、健康を支える環境づくりに取り組む『なんぶ健康会議』を実施。

**スマイルなんぶ**
〜健康・長寿、日本一を目指して〜



連携部署：医療・食生活・運動

対象：町民

内容：生活習慣病の発症と重症化を予防するための取組



出向く

タッチポイント

広報

○『町民いちスポーツ事業』として子育て支援課の管轄する児童館で、「幼児体操教室（前期・後期）」を開催。前期は5月〜7月まで月2回町内3会場（身延児童館・下部学童保育室・中富すこやかセンター）後期は10・11月に月2回町内2会場（身延児童館・中富すこやかセンター）で実施。



連携部署：子育て支援課

対象：乳幼児とその保護者 指導者：委託講師

内容：幼児体操



出向く

○長寿社会課の取り組みである健康ポイントラリー事業と協力し、健康体づくり教室をポイント対象事業にしている。ポイントを貯めた方は、クオカード等との交換ができる。（富士吉田市）



連携部署：長寿社会課

対象：子どもから高齢者まで

指導者：スポーツ推進委員

内容：ボールを使ったレクリエーションやフリスビー



出向く

タッチポイント

○福祉課、社会福祉協議会との連携で11月第1日曜日午前9時からスポーツフェスティバルを開催。子どもから高齢者まで誰でも気軽に楽しめる軽スポーツの普及推進に努めている。福祉課、社会福祉協議会のPRもあり、高齢者の軽スポーツへの参加者が増えた。（昭和町）



連携部署：福祉課、社会福祉協議会

対象：子どもから高齢者まで

内容：軽スポーツ



タッチポイント

広報